



YANMAR

News Release

2022 年 6 月 29 日

ヤンマーホールディングス株式会社

2022 年 3 月期決算概要について

ヤンマーホールディングス株式会社(本社:大阪市北区、社長:山岡健人)は、2022 年 3 月期決算を発表しました。

■2022 年 3 月期の連結業績

当会計年度の連結業績について、売上高は前年比 11.4% 増の 8,714 億円となり、経常利益は 54.2% 増の 489 億円となりました。

2022 年 3 月期の連結業績(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%は対前年比増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
		前年比		前年比		前年比		前年比
2022 年 3 月期	871,453	11.4%	36,217	67.3%	48,991	54.2%	36,778	100.7%
2021 年 3 月期	782,368	▲1.7%	21,644	57.8%	31,778	101.9%	18,323	-

当社は、2020 年度から進めてきた構造改革により、全ての事業において増収増益となり、グループにおける売上高・経常利益ともに過去最高となりました。アグリ事業は中国、南米での需要が堅調に推移しました。また、海外での建設機械事業やエンジン事業が前年を大きく上回り、業績向上に貢献しました。

■2023 年 3 月期の連結業績見通し

グループ全体では、中期経営計画の実現に向けたスタートの年として、戦略実行フェーズへと移行します。脱炭素社会の実現に向け、船用水素燃料電池システムや水素エンジン、産業機械用バッテリー動力の実用化に向けた開発などを加速させます。世界的な材料費、物流費高騰などのリスクが懸念されますが、引き続き、コスト構造改革による価格競争力の強化や現地法人への権限委譲、コーポレート機能のグローバル化など、事業活動の迅速化に取り組みます。

こうした取り組みにより、翌連結会計年度(2023 年 3 月期)の連結業績見通しについては、売上高 9,300 億円(前年同期比 6.7% 増)、営業利益 350 億円(同 3.4% 減)、経常利益 400 億円(同 18.4% 減)、親会社株主に帰属する当期純利益 280 億円(同 23.9% 減)を予想しています。

2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%は対前年比増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
2023年3月期 (予想)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	930,000	6.7	35,000	▲3.4	40,000	▲18.4	28,000	▲23.9

※業績の見通しの前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=120円、1ユーロ=128円を想定しております。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com